

深谷市教育委員会だより

こころざし

発行・編集

深谷市教育委員会学校教育課

〒366-0823 埼玉県深谷市本住町17-3

TEL:048-572-9578 FAX:048-574-1744

E-mail gakko@city.fukaya.saitama.jp

平成23年度 埼玉県小・中学校学習状況調査 深谷市結果より
《深谷市内 小学校第5学年対象 4月25日実施 調査結果 概要》

国語

※表中の数値は、
平均正答率

評価の観点	県	市
国語への 関心・意欲・態度	60.1	60.7
話す・聞く能力	95.1	94.7
書く能力	53.2	51.8
読む能力	74.6	75.1
言語についての 知識・理解・技能	76.5	77.9

観点別結果から

【国語】

市と県を比較すると、観点ごとに1%前後の差であり、ほぼ同じレベルです。辞書の利用、語句の意味等の「言語についての知識・理解・技能」は県と比較して高くなっていますが、理由や事例を挙げて書く等の「書く能力」に課題が見られました。

【算数】

県をやや上回っています。昨年度は全ての観点で県の平均正答率を下回っていたので、大きな飛躍と言えます。積を概数で見積もる問題や立方体の展開図の問題等「数学的な考え方」に課題が見られました。

算数

評価の観点	県	市
算数への 関心・意欲・態度	68.7	70.6
数学的な考え方	68.5	69.1
数量や図形に ついての表現・処理	77.1	78.2
数量や図形に ついての知識・理解	75.2	76.1

社会

評価の観点	県	市
社会的事象への 関心・意欲・態度	82.7	84.1
社会的な 思考・判断	74.6	73.9
観察・資料活用の 技能・表現	77.3	77.6
社会的事象に ついての知識・理解	76.0	76.4

【社会】

市と県を比較すると、観点ごとに1%前後の差であり、ほぼ同じレベルです。節電等に対する「関心・意欲・態度」は県と比較して高くなっていますが、人々の工夫や備えについて考える問題等の「社会的思考・判断」に課題が見られました。

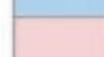
【理科】

全般的に県を上回っています。水・空気の温度による体積変化の問題や気温の変化と天気についての問題等の「科学的な考え方」、また、乾電池のつなぎ方の問題やモンシロチョウの育て方の問題等の「観察・実験の技能」は、県と比較して特に高い傾向が見られました。

理科

評価の観点	県	市
自然事象への 関心・意欲・態度	71.5	73.4
科学的な考え方	79.8	85.3
観察・実験の 技能・表現	59.9	64.3
自然事象についての 知識・理解	76.3	78.9

※ 数値は、観点別正答率

 市が県を上回っている
 市が県を下回っている



⑮ くしゅうを、かていで、ちやんと!
小さな ㊦ み重ねが大切です!

内容別結果から



算数

内容	県	市
数と計算	77.0	78.0
量と測定	74.8	75.9
図形	72.7	72.9
数量関係	74.6	76.1

【算数】

「数直線上のめもりが表す分数の問題」「正方形を20個並べたときの周りの長さを求める問題」は、県をそれぞれ7.0%、5.3%上回りました。

「3.2は3よりどれだけ大きいかを求める問題」や「1000円で買えるかどうかを考えるために多めに見積もって計算する問題」は県をそれぞれ2.7%、1.4%下回りました。

※ 自分の考えや学んだこと等をしっかり書いていきましょう。

※ 実際に操作をしながら、図形の学習をしていきましょう。

国語

※表中の数値は、
平均正答率

内容	県	市
話すこと・聞くこと	95.1	94.7
書くこと	53.2	51.8
読むこと	74.6	75.1
言語事項	75.6	77.1

【国語】

「辞書を利用して調べる」、「語句の意味を正しく理解している」の正答率は、県をそれぞれ5.6%、4.1%上回りました。

メモを見て20字以上40字以内で書くという「目的や必要に応じて理由や事例を挙げて、決まった字数で書く問題」は県より3.0%低く、課題が見られました。

※ 様々な場面で「書く」活動を取り入れ、指定した字数で「書く」経験を積みましょう。

※ わからない言葉を辞書ですぐ調べたり、習った漢字を意識して使ったりしましょう。

社会

内容	県	市
身近な地域や市町村	78.6	78.8
地域の人々の生産や販売	80.0	78.8
飲料水、電気、ガスの確保や農産物の処理	70.8	71.3
災害及び事故から人々の安全を守る工夫	77.4	76.4
地域の人々の生活	83.7	84.1
県の様子	67.5	67.7

※ 数値は、内容別正答率

【社会】

「荒川はどの川かを選ぶ問題」、「暖房道具の移り変わりの組み合わせを選ぶ問題」は、それぞれ県を7.3%、2.9%上回りました。

「縮尺は何を表す目盛りなのかを選ぶ問題」、「消防署員が火事に備える工夫の問題」は、それぞれ県を7.4%、6.5%下回りました。

※ 新聞を読んだり、ニュースを見たりして、メモをとる習慣をつけましょう。

※ 生産や販売をしているところに実際に行ったり、ビデオを見たりして、体験を通して理解しましょう。

理科

内容	県	市
物質・エネルギー	68.9	73.2
生命・地球	76.8	78.7

【理科】

「水と空気は温めると体積が膨張し、空気の方が体積変化が大きいと答える問題」は、県を約20%上回りました。

「虫めがねを用いて、日光を集めたところを小さくすると、明るさや暖かさが増すことを答える問題」や「水蒸気を冷やすと水に戻ること」を答える問題は、それぞれ県を2.3%、1.3%下回りました。

※ 実体験を通して、常に疑問をもちながら取り組んでいくようにしましょう。

※ 日常生活の中で〔氷→水、水→水蒸気〕、〔水蒸気→水、水→氷〕などの状態変化の例を考えてみましょう。



各学校でも結果分析をし、2学期以降の学習に生かしていきます。